

集落支援員に関するアンケート調査結果について

1. 調査概要

(1)目的

集落支援員に期待する活動や支援を希望する集落を把握するために実施。

(2)対象者及び実施時期

対象者：美和地域の単位自治会長及びふるさとづくり推進協議会長

実施時期：令和4年8月～令和4年9月30日(回答期限)

(3)配布・回収状況

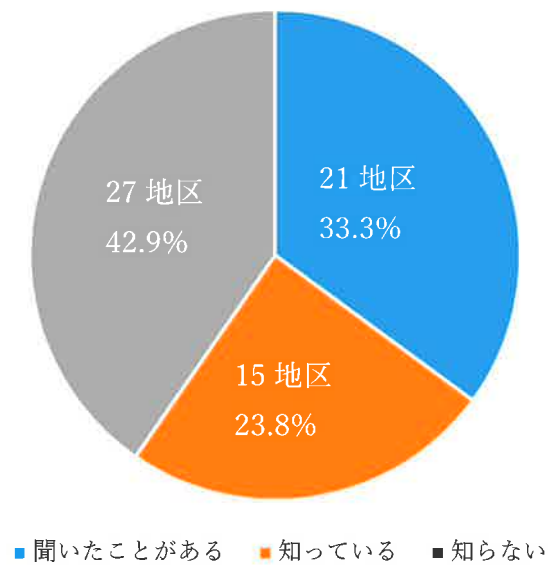
	長谷地区	釜ヶ原地区	坂上東部地区	坂上西部地区	西畑地区
配布数	5	3	7	10	8
回答数	5	3	5	10	7
回答率	100.0%	100.0%	71.4%	100.0%	87.5%
	生見地区	下畑地区	阿賀地区	北中山地区	秋中地区
配布数	10	6	6	6	10
回答数	8	5	5	6	9
回答率	80.0%	83.3%	83.3%	100.0%	90.0%

	ふるさとづくり 推進協議会	単位自治会	計
配布数	10	61	71
回答数	8	55	63
回答率	80.0%	90.2%	88.7%

- ・ふるさとづくり推進協議会の回答率は80.0%
- ・単位自治会の回答率は88.5%
- ・全体の回答率は87.3%となっている。

2. 結果

(1)「質問1」集落支援制度を知っていますか？

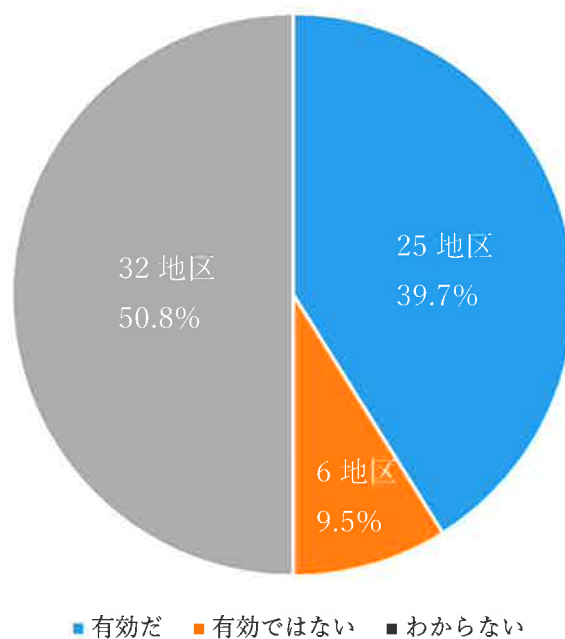


(2)「質問2」あなたの地域についてお伺いします。地域の困りごとは何ですか？

地域の困りごと	回答数
人口の減少や高齢化により草刈り等共同作業が困難になっている。	22地区
空き家の管理が負担になっている。危険な空き家が多い。	19地区
地域の担い手不足等による耕作放棄地の増加している。	18地区
高齢化・人口減少	12地区
自治会の運営が困難になりつつある。	5地区
飲料水の確保	3地区
人間関係が難しい。	2地区
竹林繁茂等により生活環境が悪化している。	2地区
県道の草刈りができていないため通行に支障がある。	2地区
生活交通バスの便が悪い。時刻表がわかりにくい。	1地区
急病の時の対応が難しい。	1地区
コロナ禍でコミュニケーションをとることができない。	1地区
食料品の調達が難しい。	1地区
山林の管理が難しくなってきた。	1地区
担い手不足により地域行事が難しくなってきた。	1地区
鳥獣被害	1地区

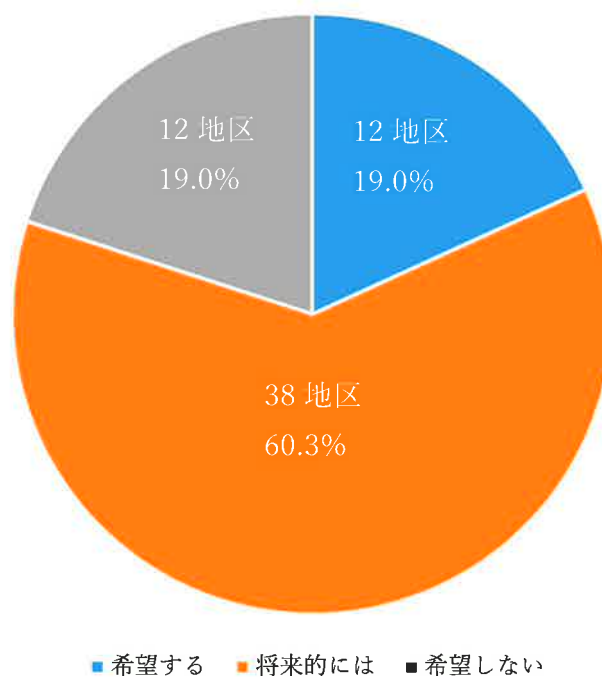
- ・人口減少や高齢化が進行し、地域の担い手が減少したことによる困りごとが中心となっている。
- ・飲み水、食料の確保、急病時の対応など、生活に関わる切迫した悩みも増えている。

(3)「質問3」地域の困りごと解決に集落支援制度は有効であると思いますか？



・約4割の地区が、地域の困りごとに集落支援制度は有効であると考えている。

(4)「質問4」今後、集落支援員があなたの地域に入って支援活動することを希望しますか？



・「質問3」で、約4割の地域が、集落支援制度が地域の課題解決に有効であると考えているが、すぐに支援活動を希望している地域は約2割にとどまっている。

集落支援員があなたの地域に入って、「支援活動をすることを希望しない」を選択された方は、その理由を教えてください。

希望しない理由
問題事を確実に解決して頂かないと中途半端な対応では火に油をそそぐだけとなるため。
集落の自治会長と役員が一致協力している。
一過性の活動で片付く問題ではないから。
自分も年だしいつまで車の運転ができるか？体力的にも不安
集落支援員の方がされた事、その効果がわからないので、集落支援員の方が入られて何ができるのかわかりません。
5地区を対象に来ていただけると対応は可能ではないでしょうか。
来られても対応が難しいのでは。
集落の巡回、状況把握で困っていることに対して具体的な対応ができるか疑問です。
過疎化のため
支援員が直接、力仕事するのではないから、動ける担い手が欲しい。
一年間集落支援員が活動されたが具体的な成果がなかった。

- (5)「質問5」 集落支援員にどのような支援活動を期待しますか？
 (質問4で希望しないと回答された方も今後の参考のためにご記入ください。)
 (該当するもの3つまで☑してください)

集落支援員にどのような支援活動を期待しますか？	回答数
耕作放棄地対策	33地区
自治会活動への支援（草刈り、清掃活動、地域行事、総会等に対する支援）	32地区
生活支援（買い物支援、飲料水の確保、草刈り等）	17地区
各種届け出や補助金申請等の行政手続き支援	14地区
空き家を活用した移住定住促進に向けた取り組みへの支援	13地区
集落に関する情報やニーズの収集・把握・行政への情報提供	11地区
集落と行政の調整が円滑になること	10地区
集落でのイベントや新たな取り組みへの支援	8地区
特にない	6地区
集落での話し合い活動への支援	5地区
ふるさとづくり活動の支援（草刈り、清掃活動、地域行事、総会等に対する支援）	4地区
その他（※下表に記載）	3地区

集落支援員にどのような支援活動を期待しますか？（その他のご意見）
地区の問題を確実に対処していただき、地区の人全員が安心して住むことができる対策を実行して欲しい。弱者を救済する権利ばかりが強くて被害者（一般住民）の安心して住める権利が失われている気がする。
栗園が多くあるのでその管理
防犯のための巡回など

- ・集落支援員に支援してほしい活動は、耕作放棄地対策、自治会活動への支援、生活支援が主なものとなった。

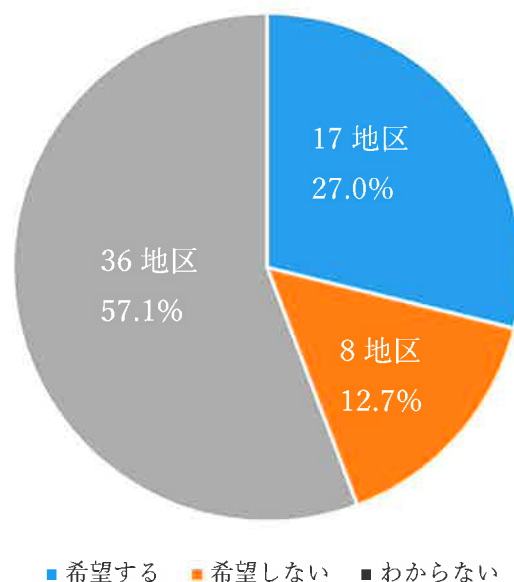
- (6)「質問6」 集落の維持に必要な行政の支援は何ですか？
(該当するものに3つまで☑してください)

集落の維持に必要な行政の支援は何ですか？	回答数
活動にかかる費用や設備維持への助成	35地区
耕作放棄地の増加防止支援	33地区
活動の担い手となる人材(リーダー・世話役等)の育成	22地区
農林業支援	16地区
活動に必要な手法等の指導をしてくれる専門家の派遣	11地区
集落の統合へ向けての取組支援	10地区
特にない	8地区
先進的な活動事例の紹介	6地区
活動拠点となる場所の提供	3地区
その他(※下表に記載)	3地区

集落の維持に必要な行政の支援は何ですか。(その他のご意見)
集落としての存続対策
集落に対してどのような支援ができるのかご指導願います。
現実的に活動の多様化は無理。生活道の整備を望む。

- 集落の維持に必要な行政支援は、経済的な支援や耕作放棄地増加防止支援、担い手の確保が主なものとなった。

- (7)「質問7」 あなたの自治会で集落点検を希望しますか？



- 集落支援員による集落点検を希望している地区は 17 地区 (27.0%)
- わからないが半数を占めており、集落点検や集落支援事業の周知不足が明らかになった。

(8)集落支援員制度等の行政支援に対するご意見・ご要望があればお聞かせください。

集落支援制度等の行政支援に対するご意見・ご要望があればお聞かせください。
他地区の状況を知らせてほしい（出来ればくわしく）
若い人にどんどん自治会に参加してもらい、いろいろな意見を取り入れ、イベントの企画、実行して地域を盛り上げる環境を作してほしい。地元どんなイベントがあったらよいか、若い人にアンケートをして試しに実行してほしい。
集落の住民がひとりとして不安のない生活ができることを望みます。それが外部からの移住の絶対的条件だと考えます。
農業経営の軸となる担い手不足に尽きる。（高齢化により従事者の展望がみえない） 鳥獣被害（現状は猪が主）の増加対策
集落のイベント支援
集落支援員の活動を広報誌等で広くPRし、活動を認知してもらえば、その地域だけでなく、協力者が出て来ると思う。大きなテーマを持って色々アイデアを出してもらい、役所がそれをバックアップする。（現在は支援員さんがどういう目的でどんな活動をされているかよくわからない）
高齢者に対してサークル的な支援が出来ないか。
災害は起こる前に対策をするべきではないかと思う。一緒に考えたり、ここまでなら出来るなどのアドバイスがあっても良いのではないかな。もっとコミュニケーションをとってもらえるとありがたい。
一時的な活性化に成果はあっても継続が問題、 最終的には地域の人たちの意識だと思います。
高齢者の一人暮らしの定期的な訪問、困りごとの聞き取り
一時的支援では段々と自治会人数も減っていくので長く支援を続けてもらいたい。
過疎高齢化集落で必要なのは労働力で、集落支援員がどのような活動をしてもらえるか不明。 草刈りの手伝い、買い物に行ってくれる、蜂やムカデに刺された等で病院に連れて行ってくれるなどに対応できる活動が必要では？
集落の人が減っていくことが問題。若いときは都会で活躍して、老後は田舎に帰って自立すれば良いと思う。良く言うUターンにメリットのある行政支援が必要と思う。
地域おこし協力隊のほうが良いのではないかな。美和町としてはセカンドハウス（別荘）を増やして都市と往復してもらう。
支援員制度のPR、実施されている内容等の事例の紹介。
3自治会を1つにして欲しい。
耕作放棄地の増加防止支援を望む。
美和町全体の自治会長の輪を作る。